

パソコン講座の講師体験

藤田せつ子

講師役を受ける

2010年の夏の終わり頃だった。突然 OPC の事務局長から地域講座講師の話があった。教えてもらう一方だった私にそんな大役「ムリムリ」と思う。

それまでの講師は安心してお任せできたベテランの方々だった。

私ではパソコン一般知識が不十分だ、途中でオタオタするだけで、立ち往生している場面やパニックに陥っている自分が見える。

だが、暫くの時間経過ののち結局は引き受けた。誰も引き受けたがらない役、逃げ回るのも潔しとはしない。

今まで入門初心者の何もわからない頃から教えていただきお世話になって、曲がりなりにもここまで来れたことを、別の初心者にお返しするときかもしれない。

ただし、ベテランとは違うので任せっぱなしにしないでね、サポートをよろしくと約束を交わして10月頃から準備にとりかかった。

連携地域講座 今年こそパソコンで年賀状！
(大田区教育委員会、大田区パソコン同好会)
日時：2010年12月4日5日11日の3日間
場所：大田区立蓮沼中学校パソコン教室



準備整えば怖いモノ無し

頭いい人は勉強しなくてもいい点とれるが、私の場合、試験前に必死で勉強してやっと及第点をもらう鈍才だから、とにかく努力して備えなければならない。

能力不足は準備を万端整えることでしか補えない。教えてもらった当時の資料やネット検索を参考にして1カ月くらいかけてテキスト作成、教えることに慣れるためリハーサルも3回 OPC 会員に生徒役になってもらってやった。リハーサルでは問題点が出るから本番の予想ができて対処方法を考える準備になった。

傍から見ても、大げさなほどの準備とサポートだった、当時の事務局長にはなにかにつけてよくお世話してもらった。

講座終えて

パソコンを始めたいと思う人は多い。大田区で20名募集したら3倍の60余名の応募あ

り、参加者は抽選で 20 名に決めた。

OPC 会員から 36 名（3 日間の延べ数）のアシスタントがついた。

生徒さんの顔を見て、出来ない事が出来たときの嬉しそうな顔を見たときは私も嬉しくなってそれまでの苦労が吹き飛んだ。

アンケートを見たら、喜びと感謝の言葉が多かったので成功と言っていいと思う。

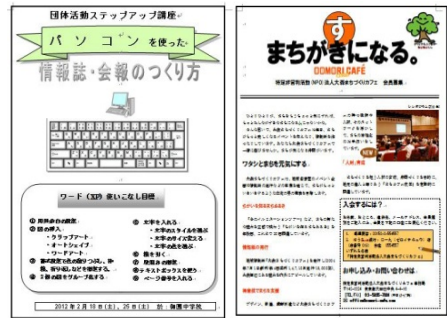
2012 年 ステップアップ講座・・・・・・・・

団体活動ステップアップ講座

日時：2012 年 2 月 18 日（土）、25 日（土）

場所：大田区立御園中学校パソコン教室

パソコンを使った情報誌の作り方



前回の講座で私は自分の力を出し切って長い期間（1 年以上）脱力感に浸っていた。お役目果たしたと私の内では講師役は終止符を打っていた。

ところが 2012 年 1 月予定されていた講師役の方のご都合で急遽またお願いされた。

それは大田区社会教育課主催のステップアップ講座のうちの一つ『パソコンを使った情報誌・会報の作り方』に OPC が協力するというもの。講座参加者は大田区内でサークル活動をやっている区民でパソコン入門者ではない。すでにパソコンを駆使して情報誌を作っている人も参加する。より良い情報誌を作るための講座だ。パソコンレベルが高い人もいる。

いろいろ問題点続出・・・・・・・・

20 名の募集予定のところ 32 名の応募があり、応募者全員を受け付けて実施した。

前回の 20 名という数字はパソコン講座の限界だと思う。多くなると合わせる基準が難しい。前回はキーボードを打てる初心者で募集だったが、この講座は初心者からベテランまで混ざっていた。レベル色々なので一応中級者程度に合わせて進めたつもりだが、教室はザワザワと混乱の渦。大きな声で交通整理をしなければならない場面が出た。

OPC 会員からはアシスタント 19 名（2 日間の延べ数）に協力してもらった。

更に、この講座 2 日の内 私が初日をやり 2 日目はベテランに引き受けてもらえたのが心強かった。初日の混乱を 2 日目でうまく治めて最終まとめに導いていただいたと思う。

両方の講座を通して、講座をきっかけにいつもより身を入れて勉強する機会になったのは収穫だった。にわか勉強だったが苦労した分、身についた気がする。